

令和4年度第2回運営推進会議 グループホーム暖らん

今年度2回目の運営推進会議は、7月の感染拡大状況に鑑み、ZOOMによるオンライン会議によっても地域委員の方を含む数人の集合による感染リスクが生じる心配があるため、書面会議にさせていただきました。

1. 利用状況

(ア) 現ご利用者 9名

① 年齢別

	男	女
80歳代	0	4
90歳代	1	4

② 要介護度別

	男	女
要介護1	0	1
要介護2	1	3
要介護3	0	3
要介護4	0	1

7月末日現在でお一人の方が入院されています。8月初めに退院されることになっています。

2. 職員1名の新型コロナウイルス感染について

6月末に職員の1人の感染が確認される事案が発生しましたので経過をご報告します。

当該職員が勤務中のところ家族が陽性と確認されたとの連絡があり、すぐに帰宅しました。直後の検査では陰性でしたが、翌日症状があったため再度の検査で陽性が確認されました。起点とされる感染機会以降、1～2日の所内での勤務実績がありました。陽性が確認されたとの連絡後、半日以内に全ご利用者、全職員に抗原検査キットによる検査を行い、全員の陰性を確認しました。同時に出雲保健所、島根県高齢者福祉課、出雲市高齢者福祉課、協力医療機関医師に経過を報告しました。なお当該職員は勤務中は常にマスクを着用し、マスクをとってご利用者、他職員と会話、飲食をすることはありませんでした。

ご利用者には症状など特変が見られなかったため、以後、様子観察と記録を行いながら、ほぼ通常どおりの生活をしていただきました。出雲保健所からの指示、調査については、問い合わせも行いましたが、結局のところ連絡はありませんでした。

初めての職員の感染確認でしたが、かねて作成していた業務継続計画（感染症編）に記された準備、対応手順等を再確認する機会となりました。今後も感染予防対策についての新たな情報や県や市などからの通知の内容を確認しながら、感染の予防に努めてまいります。

3. 訪問看護ステーションとの業務委託契約による看護師の確保について

出雲保健所の近くに開設した「グロー訪問看護ステーション」と業務委託契約を結ぶことにより、定期的（週1回）、また必要により24時間随時、同ステーションの看護師が暖らんを訪問し、健康観察、相談対応、医療処置等を行う体制を8月からとることといたしました。従来職員としての看護師はいない体制でケアと支援にあたってきましたが、今後、医療上の変化があった時の対応をよりの確に実施し、ご利用者の疾患や障がいの状態が重度化しても、慣れ親しんだ暖らんの暮らしを少しでも長く、安心して続けていただく一助としたい、と考えています。

これに合わせて「重度化対応指針」を策定し、重度化や看取りへの対応についてご利用者のご家族にお伝えしてゆきます。また介護報酬上「医療連携体制加算I」を算定することとし、ご家族からはその一部ご負担について同意書をいただいています。

4. 6月から7月にかけての行事、活動など

笹巻き作り、そうめん流し、ドライブなど実施しました。いつもと同様におやつや食事を一緒に作る活動が何回かありました。

ご希望のご利用者に参加院選挙投票の介助を行いました。またご法事を自宅で行いたいとのご希望がありましたが、感染予防のため、ご家族に提案して、暖らんがZOOMホストをつとめハード面のお手伝いをして、暖らんのご利用者のご自宅での法要、全国のご親戚を繋いだオンライン法事を行う支援を行いました。

5. その他

ご利用者に対する新型コロナワクチン接種の4回目を8月上旬に実施する計画です。

令和4年7月29日

グループホーム暖らん
管理者 山崎賢二
電話 25-8581